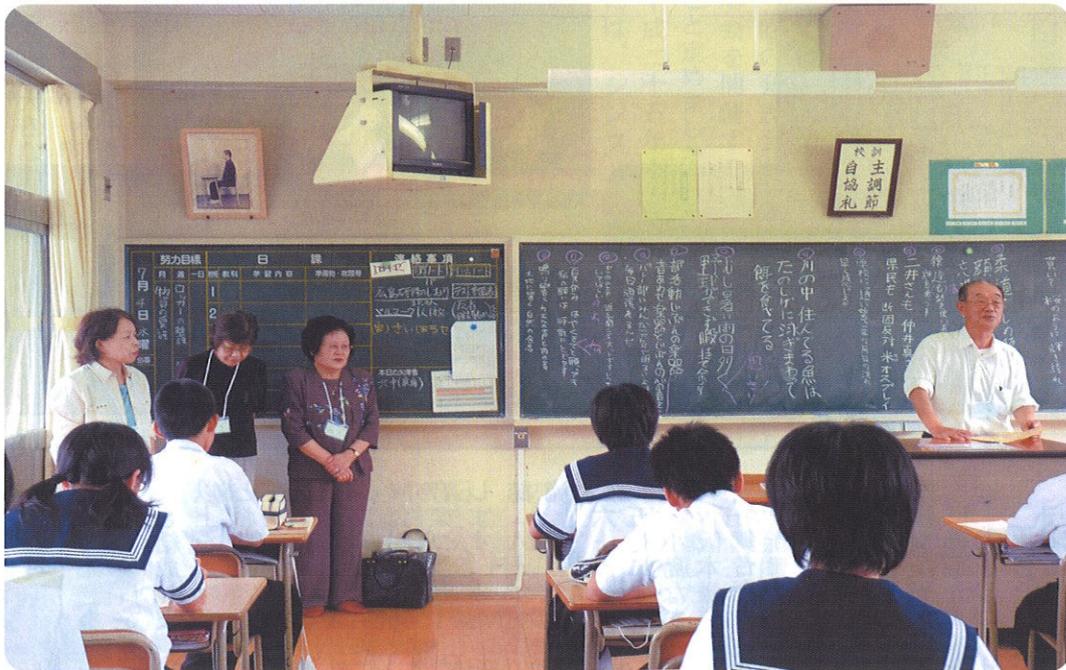


平成 26 年 3 月 20 日

編集 岩国市文化協会
発行 岩国市文化協会
<http://www.iwakuni-bunka.com/>
〒740-8585
岩国市今津町1-14-51
岩国市教育委員会
生涯学習課内
印刷 (有) 国際総合

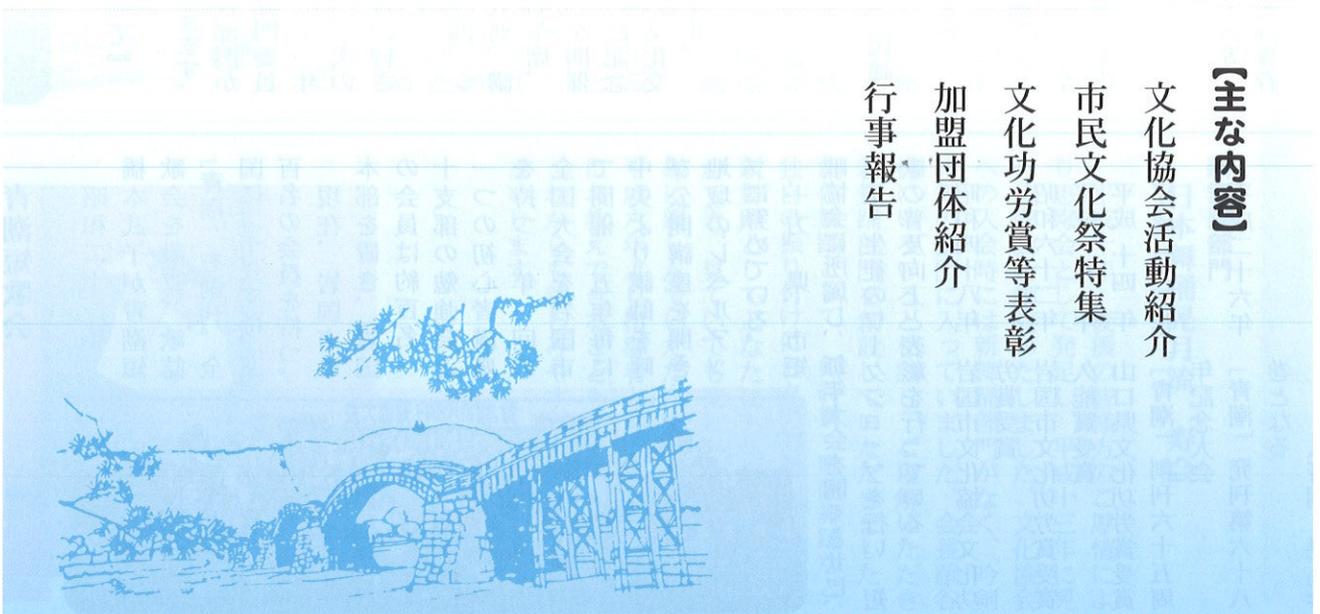
岩国文化



美和中学校における短歌教室 (岩国短歌協会・青潮短歌会)

【主な内容】

- 文化協会活動紹介
- 市民文化祭特集
- 文化功労賞等表彰
- 加盟団体紹介
- 行事報告



平成25年度文化協会活動紹介

■共催事業

『能に親しむ 岩国公演』開催

六月三十日にシンフォニア岩国において、「能に親しむ 岩国公演」が岩国市文化協会六十周年プレ企画として開催されました。岩国市出身の能楽師・香川靖嗣氏をはじめ、粟谷能夫氏、人間国宝の友枝昭世氏ら一流の能楽師が出演され、幽玄の世界を演じられました。狂言では野村萬斎氏が出演され、会場を笑いで沸かせました。能公演にあたり、当協会の能楽部門の皆さんには舞台設営、公演運営などに中心的な役割を果たされました。また、公演の協賛事業として、二十九日、三十日の二日間、加盟団体のご協力により、いけばな展、水墨画・俳画展、クラシックコンサート、邦楽演奏会、お茶席、おはなし会を開催し、能公演に華を添えました。



■『六十周年記念事業について』

当協会は本年創立六十周年を迎えます。そこで記念事業を行うために、各部門から実行委員を募り、事業ごとの専門委員会を結成しました。各専門委員会が一年以上をかけて、何度も協議を重ね、次のとおり内容が決まりました。委員の皆さんには、心よりお礼申し上げます。

五月二十四日、二十五日の二日間、シンフォニア岩国において、記念式典、講演会、舞台発表、合同展示会、お茶席、音楽コンサートなどの多彩な催しを開催します。また、記念事業も掲載した記念誌「六十年史」の発行、海外での文化交流、祝賀会なども予定しております。

六十周年記念事業内容

- 五月二十四日
 - 小島なお短歌講演会
 - 阪本謙二俳句講演会
 - 舞台発表（邦楽、邦舞、洋舞、民謡、新舞踊）
 - ピアノと合唱の音楽コンサート
- 五月二十五日
 - 記念式典（文化功績賞表彰等）
 - 村上弦一郎記念コンサート
 - 藤原正彦文化講演会
 - 大正琴コンサート
 - 祝賀会
- 五月二十四日・二十五日
 - 合同展示会（美術、書道、文芸等、華道、クラフト、写真、鉄砲隊保存会、宇野千代顕彰会）
 - お茶席

青潮短歌会

昭和二十一年、橋本武子が青潮短歌会を設立、歌誌「青潮」を創刊。全国に二十三支部、三百名の会員を持つ。現在、岩国市に本部を置き、岩国の会員は約百名、十支部の勉強会と一つの初心者講座を持つ。年一回の全国大会を岩国市で開催、五年毎に中央より講師を呼び公開講座を開き地域のレベルアップに努めている。

一方、県、市短歌協会に所属し、毎年大会を開くと共に、児童・生徒のワークショップを行い、短歌の普及向上と表彰を行っている。



- 昭和四十八年 岩国市文化協会文化功労賞受賞
- 昭和六十二年 岩国市文化功労賞受賞
- 平成八年 久能賞受賞
- 平成十四年 山口県文化功労賞受賞
- 平成二十三年 「青潮」創刊六十五周年記念大会
- 平成二十六年 「青潮」発刊第六十八巻となる

（音羽 晃記）

第57回 岩国市民文化祭



7月7日 音楽フェスティバル



7月21日 洋舞フェスティバル



7月28日 コーラスフェスティバル



8月1~4日 近郊カメラマンたちの写祭



8月25日 日本舞踊祭



9月21~23日 諸流いけばな・盤景展、合同茶会



10月13日 岩国市民短歌大会



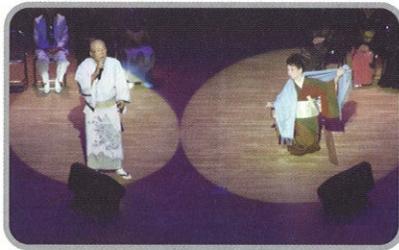
10月27日 岩国市民俳句大会



10月24~27日 俳画展



10月26日 岩国市民川柳大会



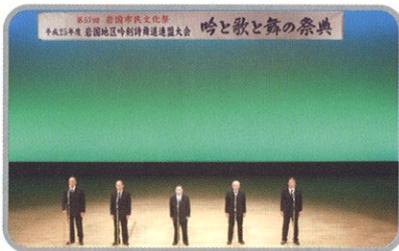
10月27日 ふれあい歌の祭典



11月2~4日 秋の盆栽展



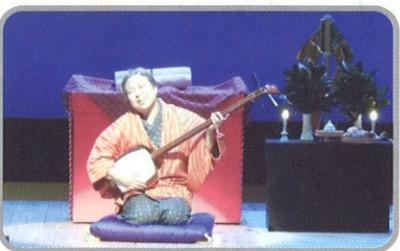
11月10日 邦楽大演奏会



11月24日 岩国地区吟剣詩舞連盟大会



11月29日~12月1日 合同クラフト展



12月1日 演劇公演



3月20~23日 水墨画展
(写真は昨年の様子)



栄えある受賞 おめでとうございます

岩国市文化協会では、協会の発展や岩国市の文化振興に功績のあった方々を表彰しています。
平成25年11月4日(祝)に岩国国際観光ホテルにおいて表彰式と祝賀会が開催されました。



- | | | | | | | | | |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 岩国混声
合唱団 | 松本あけみ | 増田 理恵 | 福多歌寿紀 | 杉本 広子 | 高嶋 浩子 | 小山 渚 | 石井久美子 | 北中山
子ども神楽 |
| | 森本 宗江 | 深森 良夜 | 二宮 信子 | 保田 正子 | 河上 照子 | 津原 篁邦 | 片原 政子 | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

● 岩国市文化協会表彰 ●

久能賞

久能賞は、初代会長である久能寅夫先生の顕彰会からの寄付金を基金として、文化振興に功績のあった他の模範となる個人や団体を表彰するものです。

- 河上 照子 (岩国同人俳句会)
保田 正子 (宇野千代顕彰会)

文化功労賞

文化功労賞は、文化振興や文化協会及び加盟団体の発展に永年貢献し、功績があった個人や団体を表彰するものです。

- 個人
片原 政子 (草笛短歌会)
金丸 錦風 (嘉風流吟剣詩舞道)
杉本 広子 (華道家元池坊岩国支部)
深森 良夜 (岩国同人俳句会)
森本 宗江
(社団法人茶道裏千家淡交会岩国支部)

文化奨励賞

文化奨励賞は、芸術文化の分野で高い評価を受け、今後の活躍が期待される個人や団体を表彰するものです。

- 石井 久美子 (草笛短歌会)
小山 渚
(琴伝流大正琴全国普及会フェニックス)
高嶋 浩子
(岩国ソシアルダンス研究会)

● 岩国市教育委員会表彰 ●

文化功労賞

岩国市文化功労賞を受賞されました皆さんのご紹介です。

- 個人
津原 篁邦 (草月流岩国)
二宮 信子 (蜀紅短歌会)

- 団体
北中山子ども神楽

(敬称略)

団 体 紹 介

俳句部門

岩国同人俳句会

当会の本社である「同人社」は大正九年、「句は人なり」という創始者青木月斗先生の詩の精神を基本に結社されました。

その後、岩国同人俳句会は、昭和二十一年に、当時岩国在住の高橋金窗先生（同人社第四代主宰）によっておこされ、現在に至っています。単位句会は十句会、全会員は八十余名。

各句会ごとに、月一回乃至二回の句会・勉強会をもち、全体会としては年一回合同句会を開催して研鑽につとめています。今年の合同句会は、同人社第八代主宰山川幸子先生をお迎えして開催となりました。

本社へは、一人が月五句の投句をし、主宰の選を経て、毎月発行されている俳誌「同人」に掲載発表されております。（吉本みね子記）



邦楽部門

生田流正派紫陽会

昭和三十八年一月、長嶺社中として発足、その後、生田流正派紫陽会と改名。その折に一年一回の発表会か演奏会を開催することと決めました。

平成二十五年十月には、シンフォニア岩国において第四十二回を迎えました。

現在は幼稚園児から八十歳代の方まで相集い、グループごとに箏と三弦の習得に励んでおります。

東京の家元での演奏会をはじめ、地元では春の総合文化フェスティバル、社会福祉協議会や婦人会などのイベントで演奏活動しております。

また、いま一番大切な仕事は市内小中高、八校での「箏の授業」と考えています。そこに大きな手応えと喜びを感じています。そここの路地から箏の音が流れてくる——岩国がそんなより文化的なまちとなりますよう、高い志のもと、今後も活動して参りたいと存じます。

（長嶺雅穂記）



吟剣詩舞部門

水府流吟道中国地区本部

水府流は、初代宗家佐々木神風先生の吟詠の音楽性と芸術性の訓に共鳴し、全国の同志を得て創設。総本部を茨城県土浦市におき、埼玉県、栃木県、秋田県の各本部と当中国地区本部があります。

当会は、代表故森本晴風先生のもと昭和五十三年設立し、岩国市文化協会に入会しました。現在は、貴船翠風先生が代表となり三会派——晴風会（数井虎風会長）、翠風会（貴船翠風会長）、弘風会（岡本礼風会長）の二百余名で、年一回の合同研吟発表会を開催しています。

当会員の楽しみは、各本部が開催する記念大会に旅行を兼ねて参加できることです。当会でも全国からの会員が集い、岩国市民会館やシンフォニア岩国で五年毎の記念大会を開催して参りました。昨年十月に岩国国際観光ホテルで開催した三十五周年記念大会では、宗家をはじめ多くの会員と友好の輪を広げました。

（権代神弘記）



新舞踊部門

日本舞踊晃月流 寿会

平成十年、後援の皆様方のご厚情により恵寿会として発足し、平成十三年に晃月流寿会を創立いたしました。文化協会への入会時には新舞踊部門がなく、吟剣詩舞の部門に入っていました。会長藤谷様にいろいろと相談し、ご理解いただき新舞踊部門を創設していただきました。創作舞踊として、剣詩舞、歌謡舞踊など、独自の振り付けに日々努力をしています。新舞踊としてどなたにも気軽に踊ることができ、見ていても楽しい舞踊として皆様に親しんでいただけたらと思います。平成六年より指導者として、会員の皆様にお教えできることもとても幸せです。これからも親しみやすい舞踊を目指してまいります。

（晃月恵寿記）



作品と受賞者の紹介

◎第二十八回国民文化祭やまなし二〇一三
文芸祭・短歌の部

日本歌人クラブ賞 弘兼 安雄

「この頃の私は重いと業者言い
不浄門より遺体を運ぶ」

◎岩国市俳句大会（十月二十七日開催）

市長賞 末永 悦枝

「日の匂ひ残る日傘と坐りけり」

◎岩国市短歌大会（十月十三日開催）

市長賞 二宮 信子

「花びらが地に降るように五秒間」

病の告知はさらりと降りぬ」

◎岩国市川柳大会（十月二十六日開催）

市長賞 有光 和美

「軽やかな歩みの先に待つ小石」

新・岩国百景



錦川清流線・南桑
写真・富永勝之（写田・のら犬）

文化協会行事報告（平成25年度）

平成25年 5月11日	第一回理事会
5月18日	第一回会員委員会
5月25日 26日	代議員会
7月7日	春の総合文化フェスティバル
7月27日	市民文化祭総合開会式
8月2日	第二回理事会
10月1日	第一回事業委員会
10月17日	久能賞選考委員会
11月4日	第三回理事会
11月27日	第一回企画委員会
12月12日	岩国市文化協会文化功労賞等 表彰式典・祝賀会
平成26年 1月7日	第一回編集委員会
1月28日	第二回編集委員会
2月3日	第三回編集委員会
2月19日	第二回企画委員会
	第四回編集委員会

『岩国市文化協会ホームページ』

会員の皆様の催し物、活動状況、新規会員の募集等さまざまな情報を発信しております。特に各種大会での優秀な成績などはトップページに掲載させていただきまます。たくさんのお待ちしています！

「岩国市文化協会」検索

文化協会役員紹介（平成25年度）

顧問	福田 良彦
名誉会長	佐々生君子
参与	岩見屋 健
会長	藤谷 光信
副会長	安東 栄一
	廣重 光風
	宮本歌千穂
理事長	元島 祥次
常務理事	宗正 誠司
理事	石川 善久
	井原多佳子
	上田 良成
	江村 恒子
	小國 正巳
	音羽 晃
	賀屋 恍山
	北川 年明
	晃月 恵寿
	近藤 順子
	篠原 芳弘
	田村 順玄
	中村貴美子
	浜村 瑞穂
	半田 幸男
	藤永 具視
	藤間勘三津
	藤本秀規
	松根 健治
	宮原 賀風
	柳澤 静子
	山下 好雄
	弘中 利夫
	堀 豊輝

監査
（平成二十六年三月一日現在）
五十音順

編集後記

「肉体の破裂しそうなエネルギー
またもや、快挙です。」

どこへのがすの空が低いよ」
（川下中二年 岡本 滯）

NHK全国短歌大会ジュニアの部で最高の「大賞」を受けました。

過年、国民文化祭で草笛短歌会の片原政子さんが最高の文部科学大臣賞を受賞されており、岩国短歌のレベルの高さを再認識しました。大変嬉しく、誇らしいことです。

その蔭には、歴史的な背景と多くの人々の研鑽、指導、連帯があり、継続されてこそと思われまます。

今回の表紙は、そのリード役・岩国短歌協会の青潮短歌会が美和中学校で作歌指導されている風景です。文化の裾野を広げる貴重な活動でしょう。

文化協会の活動紹介では、「能に親しむ岩国公演」と「六十周年記念事業」を取り上げました。記念事業として、記念誌発刊や講演会、展示会、コンサートなどが計画されています。ぜひ、ご参加、ご協力ください。

団体紹介では、岩国同人俳句会、生田流正派紫陽会、水府流吟道中国地区本部、日本舞踊晃月流寿会等の精力的に活動しておられる四団体に登場願いました。

最終ページの「受賞者紹介」では、昨年の国民文化祭で日本歌人クラブ賞を受賞された弘兼安雄さんの短歌を掲載いたしました。それぞれ、各団体及び執筆者のご協力を賜り、深く感謝しております。

今後とも文化協会及び本「会報」へのご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、会報の編集や記事に関し、皆様方から忌憚のないご意見ご感想をいただきたいと存じます。ご投稿をお待ちしております。

（編集委員）弘兼・吉村・武重・川野・升村・元島